FISHING トピック　No.7

干潟に潜む大型魚『マゴチ』

秋の気配がますます深まる今日この頃…。もじ少年自然の家に植えてあるフジバカマの花の蜜を吸いに『アサギマダラ』がやって来ていました。アサギマダラは「海を渡る蝶」として知られており、春に南から北へ、秋に北から南へと移動します。1日に約200km を移動したという記録もあるとか！最近では大人気アニメの「鬼滅の刃」に登場する蝶としても注目を浴びています。10月初旬から 11月中旬が飛来シーズンですので、みなさん優雅に舞うアサギマダラを探しに出かけてみてはいかがでしょうか？さて、ある日のこと、もじ少年自然の家の近くの大積干潟で 70cm超えのマゴチが捕獲されました。マゴチは砂泥地で生活する肉食性の魚で砂に浅く潜り、獲物を待ち構える習性があります。また、「コチは夫婦仲がいい」という“ことわざ”の通り、常に雄雌で暮らしています。だから、コチが１匹釣れると夫婦の片割れが釣れると言われています。釣りではルアー・餌釣りともに人気があり、針に掛かると激しい首振りをすることで有名です。白身魚の高級魚として扱われ、薄造りの刺身はフグにも匹敵することから、テッサ（フグ）並み⇒「テッサナミ」と呼ばれるも！平均のサイズ（成魚）は 40～50ｃｍほど。今回、捕獲されたマゴチはこれを大きく上回っており、大積干潟の“主”だったのかもしれません！みなさんも、まだ見ぬ大物への出会いを求めて釣り（海）へ出かけてみてください♪ちなみに…マゴチにはトゲがあります。背びれとエラの近くを触ると怪我をするかもしれません。また、丈夫な歯がありあごの力も強いので、噛まれないように注意してください。絶対に素手で触らないようにしましょう！マゴチ以外にもトゲがある魚はたくさんいます。事前に注意が必要な生き物について調べて、海へ行くようにしょう！

第２回ＭＦＣで釣り上げたマゴチ

作成日：令和３年 10 月 26 日